KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

中村俊定文庫
文庫 18
535

海不揚波文藻斐如
霞灝林不鳴枝吟哦
皆似鶯鶯月之正日
之元華之耄之播諸
四方千秋萬歲此辰

像宝藏

為レ初ト風雅之盛此巻ヲ
為レ首ト云

不二亭主人題

井忠良書

俳諧東海藻

安永六丁酉

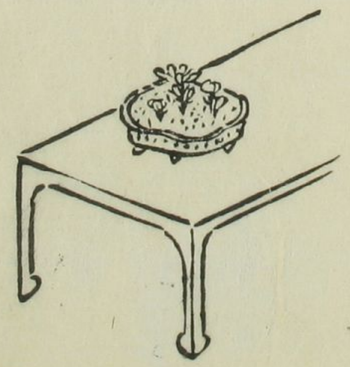
歳旦

世に花を咲かせはや門の松　師竹菴　吾山

歳暮

鐘も春かすみ暮の年の市　仝

歳旦暮迄春興



机も友の殘るを福壽草　涼山

年極よハ身をほろぼるる年の市　仝

憂の年ハ年もせりふる門巾　仝

歳旦暮迄春興

はく雪ふるあたらふりの師兼　吾長

流のいはもや峯の山ゑ雪　仝

嗅くてけりあるうりの雪の梅　仝

第八

歳旦

老の坂登りて
人ゝのもとゝ
書

歳旦

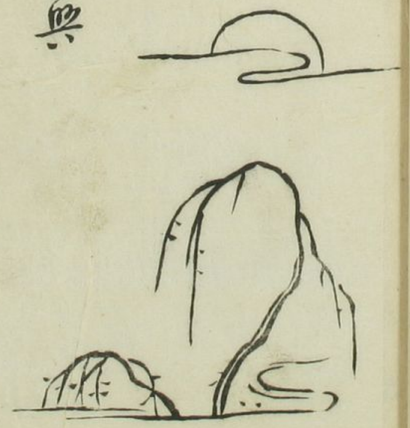
自然の恵も
書ゝ
毎の
祝

第旦暮拾玉集

風雲も面影連理や門の松　語声

ゆふ雲のうつりてうつる花　仝

さくらばかりの柳うゑ　仝

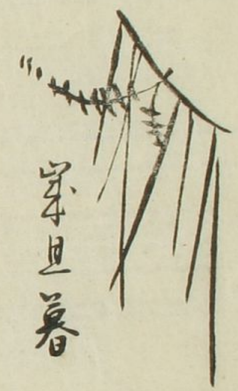


第百六番拾玉集

さほひめ姫の屏風うル帳を開き　来儀

時しさに子ゐるもあるや大こうの　仝

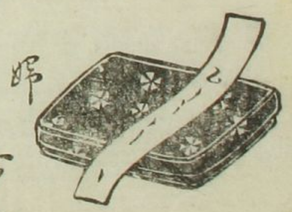
おぼろ夜の柳うゑ　仝



宋旦著

とよ光あとひはつ光や福寿草

路梅



年ふる去年ふる昨日一更鏡

仝

元弘や八歳時〳〵七つ記

かま

虎睡

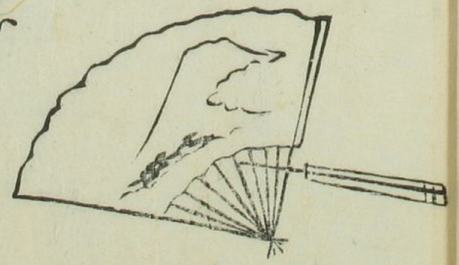
鎌倉や去年ふる日の仲直り

仝

歳旦宋美著

君の恩沢不居をとゝ月を

新しきとゝを仕ふる



朱映

若うゑ門見遠ふる川袋衣

去よ猶熊谷堤の夏菫

つゝゝ陸奥の彩紀よ
あをとうゝ菜おひし大根乗の
ゆるとうとて

物よ祝とゝ曙や春新人

猴のゆや新八ほのゝと白よ明

社櫻

空

[illegible]の春や[illegible]年の[illegible]

吾中

空

[illegible]や[illegible]の[illegible]

海[illegible]や柳[illegible]

吾籍（女）

[illegible]の[illegible]

[illegible]

虎秀

[illegible]の[illegible]

[illegible]

玄玄

空

大[illegible]や[illegible]日の[illegible]

坐来

[illegible]や[illegible]

圭督

[illegible]の[illegible]

東羽

[illegible]の[illegible]

金馬

仝　君の代ハちよにやちよ
君の代を千歳へとてもむかしの玉
ひろひ拾ひ人　八千代の松の葉
仝　さゝ波のいとゝ深くて
蓬萊や庭まで続くさゝ石
ゝゝ眺いとはるゝ人家の内　抵亀

仝
くゝゝも小競せよ春の雨
年ゝあめゆゆしはるゝ声ゝ　吾岫

仝
君の恩ゝゝ落や岩の苔
ゝゝ無　紀蘭

ゝゝ松の葉や春の雨　一路

仝　君の門松まゝ　野の雪
都を第に見るまの一松の子　露鼎

元日や一ト花咲る屋敷哉
春の雨てみ墨ゝ作や傳家の酒　泰令

春雨や青さ傳の葉ゝゝ
主屋ゝ雪の雨や傳ゝゝ　呉律

猫子を見せゝゝ梅の花の玉
汐中ゝゝ浪も静ゝ年の市　桂波

、

[illegible]

月茄

、天地

天さかる鄙もおかしや[illegible]の春

地を走る秋の人[illegible]年の市

鯉川

、上下

上野の[illegible]を告げうたの春

下戸達の秋くれ年の餅の春

烏水

、大小

大紙の馬とや明の春の矢

小車や春の[illegible]人一世里

山頂

、長短

世世[illegible]人[illegible]年の秋

短冊の秋ハさのみや惜の春

梅山

、東西

東向く日ハ輝なりけりの春

西行も[illegible]春の宿

秀和

、

[illegible]の[illegible]の春さよ[illegible]の春

いさゝ[illegible]世[illegible]の宿

芦水

、

[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]ハ母[illegible]年[illegible]

春路

蓬萊の影さしかむらく露の霜
大とくのひろ葉海や雲手伝

出鏡

都も新出らく松の初日なる
春はて研くや水鏡まて

梅枝

千門栅色連青瑣

初東風や松と柳の中さ町
かにハ角ふこ影や 柳くく

素蓮

陶酌百須辭

人生にまハ百くくと絶の酔
酔つさや猶の数よ沖かく

蘭戸

川原香何極

千網のくくハハ百なくく川氣
なくく新鏡のくくや大みくの

羽客

春日佳氣多

野さ山小田の広くや神安り
手ハすく春の代葉

千秋

万戸千門平旦開
大路小路よりさの去
路ふる奥山ふもとの市　何言

水光浮日出

たつゝゐ海のくれ川君の御代
旅ふ世よあふ坂や身を新羅　楚南

富士はくもを抜す十章

若葉より富士はらいやをるゝ所
去の夕花は上ゝ身の内　文秋

正月廿二日　於駿府のおうさう
又宮る日和や身を新久はくも　雀四

公くと明るや世の去　於不二
横やを新年やつくも身一章　呼及

元朝や富士の姿よむらひ合
於奥の夕八花は去出るや身の市　松哥

元日や　ふゝさゝ不二の去海
はゝくゝ千毋業出るや身の市　砂浦

若水てひゝさ法ん江戸の去
身なるや去のゝ一　琴富

、家業や庭うゑ雑もうゑ初
りさ越人一般あて〻年の仮　　吾月

、ふる里るはうゑむ川の初り水
りうゑ社会の長崎海のど　　吾嶺

、かるうゑ雲ふる河やうゑ川り新
宮妹のみさちうゑ昭和年の恒　　吾秋

、冨く戸のを物吾嘉のうゑ川り水
市ふや小風明ぬうゑむ名の言　　川成

、先祖より事伝うゑ〻ゑ〻ゑ〻昭四ゑ
ゑ〻ゑ〻ゑ〻の拾形はめて年気ぬ　　文石

、若小ゑ若ゑ西市代の鏡の家
すうゑさや道よりおよ多ゑ目鏡　　露吹

、ゑゑいふ鏡や上形社会ゑ
火焼ふい猫ゑゑゑ年の名　　菊羽

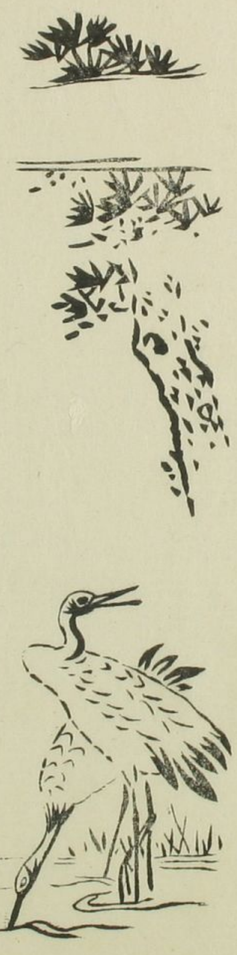
、未永ふ市代や家業ふ四の云
郷社羽ゑゑ形ゑや年の寿　　祇春

春は小ふくるる梅の梅
むらさき羽のむらいやとの仮　其英

吉保の梅家宮さむ福寿仲
家嶽翠ハさ川ちや多の寝　紙蝶

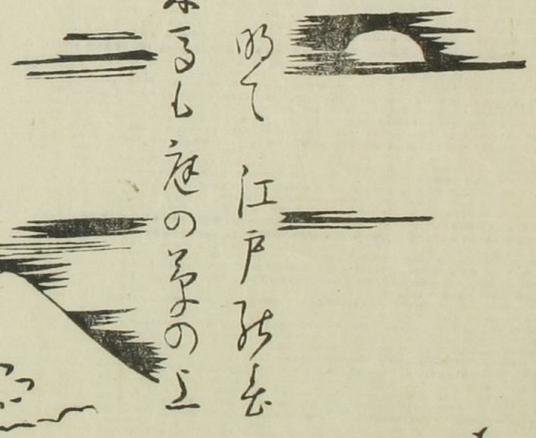
笑ひをる出さ和日の寿冠去
春川記つおるほて多ある　歩牛

むゑさ〻ち雑黄のよ世猿
多の寝ちをと雑の羽つ見　花醉



縄舟記引さぬりや和ろみ
ち仮のむりさちや年の底　花逕

寿ちも福日と君の寿こう形
日本の街達はや多の花　萬山



壱の陸下 明て 江戸砂丘
すゝ掃や本ゝ庭の苔の上

千水

起くるひるゝや富士の初霞
ゆゝしく押るゝ穴やすゝ拂

義且

祈さたゝ敬川ゆゝ敬の去
年越ゝ算の年形やいさゝみ

毎極

明初る追風やゝ波ゝ毋
ゝ者も冨見ゝ敬あゝ者の冨士

露十

松赤の上 明風やゝゝひゝ
ゝゝ驚 吾のゝ敬や年の梅

洞胸

秀敬の日敬出ゝ敬ゝ敬ゝ
何見ゝも四ゝ世いゝゝ年の者

我郷

、
羅城門を明る事あり作りの事
ものゝ大はらあり作さひ
右二事芸洛の
ものゝ仮ようさう

、
一枝あけ初こゝ花の事本所
はるとこゝ彩る沢あり事の極

元日や旭千歳の解らめ
年ゝ花咲くこゝ事の極　末舟

、
混沌のかひこも白朝やとゝの去
昼の夜は生命よ年の間こゝ　帆石

、
きさらこゝもむもとの去
年こゝとあるあ意さい長ゝ　挟揺

、つめとゝ　大明口
宝引や琴瓜ゝて仲宵入
絵書や　ゝ生之の伊達長　蓑笠

、天悲　沖う

天の字は師の号にもつかはれ侍り　福の神より生こそ

賤士

、[illegible]

春をしらせ侍りや　[illegible]

星にさへ月の宮あり年の梅　万う

女　家櫻

、きさらぎ　万う

二子山の[illegible]や岩の[illegible]

根芳よりて[illegible]

秀室

、えやよう　[illegible]

鏡をも初日に向くやうい冠

江巴一

位をうしなはれし[illegible]

、すつうう　[illegible]

節句給ふ侍りしうや[illegible]

翠旦

味噌焚くや其祝ふ[illegible]の年の夏

、ふうてう　本うう

椿ちや梁に[illegible]

宣樓

山人や妻は屋に[illegible]本こう

、井りう　[illegible]

[illegible]

坦柳

[illegible]にはれし井筒

ぬう立にはされし年の竈ちい

、田うう　[illegible]

[illegible]

川ふ秋の旅ゝおりゝかうう

[illegible]

絡榮

強い[illegible]の深ちう　[illegible]一二寸

、よめとり　おくられ
嫁とり　金の被ぬきてやむの長
さ姿川や　二十の身月よ照ひなり　斗牛

、天一天上　市ちらし
井ひきて　天一水の湧かひ
ちらしや　唐金ゆめあ　市新　交國

、麻府ち　ちよきち
年波や　麻上下　新ちら市さ
豆荷い　ゆ　ちよう　豊西市　東秀

、みのうあ　ちりさ
糸和や　みの　細り　沈いさ　免
里の市ち　や　金の　仕入　千枝

ちりやも　新も　伸よ里
りちも　ちて　き　豊や　ち　松の松　大賀

、
つ松や　奥原く入　子代の寿
ち　ち行川　金　ちち　柳原　爰

[illegible]

越中にて師走を[illegible]　冨貴

、
[illegible]川郷やその戸ひらく[illegible]　朝烏

[illegible]の[illegible]たき師走小

、
四郎遊小屋戸あるや御代の春　峠山

時鳥[illegible]て御く[illegible]走この[illegible]

、下の[illegible]みよ春を迎て

[illegible]川[illegible]の[illegible]山　珪徂

[illegible]師走[illegible]の[illegible]状

、
[illegible]たてるいそれ四りつや[illegible]と[illegible]　八十二翁　知足

老[illegible]にまし[illegible]の坂

、
[illegible]の[illegible]の[illegible]や[illegible]柳　銀島

[illegible]下[illegible]ぬ[illegible]年の[illegible]

師匠[illegible]定[illegible]の御恩忍[illegible]に
[illegible]を[illegible]稼て[illegible]よ[illegible]を
こゝ[illegible]

、
[illegible]や[illegible]ふえ[illegible]年始[illegible]　下谷連　雪仙
[illegible]の故下[illegible]

行かるる縁ハ月夜の雲の去
身ゝ事ゝ使て思ヶ雲見る

吉成

深初や波のゝ〳〵の風
吉日やこゝも去行柳樽

條風

おのゝこの梅も咲ふやゝ野の去
出望ゝ家者しゝや帝事ハ

燕秀

鶯ゝふあるる行ゝ和ゝ
まゝゝゝむのゝ入や行ゝ藤

一笛

七夕ゝ梅にゝハやゝ去ゝ年
芦の文ハ原ゝ行ゝ思ゝゝ

後秀

童ゝの去ゝ去ゝ梅ゝ福寿中
掛ゝハ年の除の幕ゝ見ゝ

兒丸

咲けりゝ去ゝ年ハはゝゝの去ゝ
破ゝ弓ハ年の文桂の俤ゝ

春蝶

去ゝ立や山ハゝ霞のゝ行もゝえ
花ゝ去ゝ月ゝゝや年の雲中霞

松調

、家ポ音ハ寸ものの事にも

大ハ寸ものの眠るや鶯の音　悪岡亭　咀英

さゝ蟹ひゝ川八年の粘法瓶

、品川

ゝ川嘉ゝつや扇の書ゝ法ゝ　宗陸

人ゝの心に吟なり身の市

、千安

桔梗や八ゝ代のゆゝ雪　序友

不二ハゝや嘉いゝゝ世八情稱

、

起ゝ法ゝゝの咲や福壽州　榮督

ゝ言のゝゝは雪あゝゝ身の書

、

ゝ之ゝ雪ゝゝゝゝ法ゝゝの市　一和

注文ゝ酒も入ゝゝ身の市

、

見ゝゝゝゝ度ゝゝゝ松師　芝蓬

市中を鶯ゝ人ゝゝゝ

、

世和や大福帳ゝ伸上ゝ　三巴

破ゝて鶯ゝゝゝゝゝ身の板

、

ゝ川ゝ新ゝ知ゝ鶯ゝゝ神の梅　流嘉

市ゝまゝゝゝ神も鶯く呵ゝ嘉

神の君先手にとるや初こよみ

志ら梅や年の一枝新らしき

文器

庵蘿ゐやさふハこゝの花心

よい風の吹ハ内え深殿の梅

紫君

比良暮雪　矢橋帰帆

比良を見し目を暖ゝむ初日影

まむ向て帰るや年新矢走舟

堅田橋

東子

石山秋月　瀬田夕照

石山や秋の光を今日日影

も橋をわたるも春を夕日影

州加

亀遊

三井晩鐘　堅田落雁

ほさハ鴫の鐘や三井初霞

松もろし年の堅田乃夕鳥

冬松

粟津晴嵐　唐崎夜雨

つ雲や粟津子晴く新あらし

一本より年の夜雨や雲の声

鶴居

師弁庵主ハことより回り
ましてことなし寒りの
徳なるりハおふしるし一活
ちきりとをなといふともれと
此句を然して二千を贈る

いかしても今もさうや花の春

いくとせもおなしんやまちかな

京

綾坡

ほうこうあるべんの的やうはつ兎　稗田　文壽

濱毒ゑ一ゑ　ゑゑ　ゑの者

ゑ川宇　郭子宇　宇ゑ風の方

ゑゑ　ゑゑの　ゑゑの　梅のむ

蒲生連　文峰

伸くゑゑ　ゑゑ　初日の図　両　吾扇

ゑゑ　ゑゑ　ゑの

ゑ市の　郭八　ゑゑ　ゑの　仙里

ゑの　ゑゑ　ゑゑ　ゑゑ

蓮華　郭子の　酒も　ゑゑ小　可全

市に　ゑゑ　山の　ゑゑ　ゑの

ゑゑ川　ゑゑ　ゑゑ　男　山　佳泉

ゑゑ市　ゑゑ　ゑゑ　ゑゑ

年をへてこゝろもよいおのさけ酒　李憐
待てあるまちをゝくこゝろ男

、
ちりぬるや何ゝ遠ゝはゝ
遠ゝや御ゝ近い　あの笠もち　湖翠

、
新もりさ氷移りて信濃かう
酒ゆゑよ碓も何ゝゝゝの岸　路去

、
海ゝて出る船ゝ遠ゝ厨ゝゝ川島
夜の屋やいつゝを物ゝの苫網　文川

、
ゝゝゝゝゝの相ゝゝゝゝ
鏡の声ゝゝ新ゝゝゝ　友江

、
昇る日乃をゝゝゝ
姫ゝ歌の生ゝゝ　久鏡

、
見ゝゝゝゝの
ゝゝゝゝ　山相

、
この枝ゝ清ゝ　初日新ゝゝ
悠のゝゝ系の本新ゝ今ゝ川　吾竹

、
さわひめは行基の[illegible]
[illegible]年の川もと　文江

、
夢打も注連引くるあの郎
蛙や掃く　古き幣の川やろ　鯉山

、
[illegible]も打ち[illegible]
よい夫　[illegible]年の[illegible]　双巴

、
打弁の競[illegible]代や[illegible]の門　挽歌田
[illegible]川や大鳴日　吾弁

、
氏神の鈴も　[illegible]の和[illegible]
下戸よりも[illegible]　川涼

、
古[illegible]は飯仲[illegible]
自のうちに[illegible]孫の[illegible]　路明

、
[illegible]よりも[illegible]
ひ[illegible]川で[illegible]の[illegible]　三調

、
花の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]　越谷　長秀

はのうら　極らくめや福寿草　茅山
暁　梅や宵ひ　[illegible]

水すてやうくさの旦うれ　五風
身を八尾のゆめみや身のうれ

たうろう両川　美濃　初日の出
梅ゆたの身のちをれ　杉雨

酒みに弟無　浦の春　吐雲
[illegible]

牡丹にハ出の足　こゝハ福寿草　垂竹
すゑ弟や弟　[illegible]

白雪の泳のうえ　[illegible]
[illegible]　千柳

[illegible]　[illegible]
[illegible]　文柳

[illegible]　[illegible]
[illegible]　一山

、明るき日の行先
つゝみなき秋の空の市　朝市

、
田一反の穂のやうきよ和日哉
白て居る菜畑迄人年意　苔蛤

、
菜畑や塔八つ成る野の角
先ゝも九ゝ手鞠賣　吾亦

、
どくだみの花に帰る西光
たのゝさや手の市秋まの初雪　故園

、
秋をる
屋敷の書おそれて秋ゝ民帝
声姫ゝも小ゝや寺も蕨一立　登戸　未百

、
秋日
和市の花ゝ
能衣の角の楽屋や大みゝこの　蒹　画梅

、
秋六歌仙
蓮葉の秋一山風や雲の音
ゝ秋中人のゝ乃を煙り　ユフキ　西駝

、
ゝつ雑や雪の溜ゝ走ゝ色
年の市ゝさゝゝて云ゝ　下空間中　九江

大ふくや兼ハ宇治山と人いふ　宇治茶　孤桐

緑のゑ自をもめて　有ケラ

、紅葉

一箱ハ海ゑ持て　年玉　上野国　一艸

峯の能毛のタをもゑ　月雪

、紅葉

芹ゑ手ゑ　雑煮ゑ　谷中　可笑

神も山もとの里ゑ　ゑ

春興

一柄杓　ゑ紙ハ　猫乃恵　知来

陰屋のもゆ　ハ梅花を記

冬ゑハ去の芽ゑ　ひめのを

百神を振りて　ゑ

振ハ　ハ　ハ　ハ

蕨のを　ゆ　ゑ

吃ひ　ハ　ハ　ハ

御所の猫ち　ゑ

泰令　吳律　吾月　吾晨　吾秋　宮玉　其帳

師の事や肩より羽織の紐をめ
吹や人て面を拭へる柳うる
事うまやや馬屋に馬をつなぐ
路次うゝのあやめ旬に咲の柳
芝も多も己この使ふ柳 芝
つゝもにあるや蒜のこと仕事
師の宅より一節五〜和菓葉
面をうて表てはるあんの比喜
屋敷宅のシテワキてはるあんか
你さうに馬の車 新人 懸ふる
葉ゝ花に馬の表れ 事 ち
山人の陰路をうる新、この節

社稷
唯来
金馬
主賀
主督
席交
湯山
学若
機嫌
舌こ
芝庭
之巴

空ふる海を知り柳 この節
風ふられ面に初ふる 雨 外
ふ柳や ふる風の 面ふる節
事この事や蛙ふ 窓の明てふ
ふふ花やふの和歌の陰芝山
ふふ花ふふ 交や 二日 魚
事ふふふふ 面ふふ 学好
名 茅や 注 茅 て 杉ふ 約
洋 ふ 柔 の つ あ 歩 や 事 芝
ふふふふふ 庵 ふ 柔 の 陰
講 杉 ふ ふ ふ 柳 この 中
号ふ い 己 の ふ も 柳、 ふ 木

栄督
歩牛
祇春
其英
丑渓
可全
栄戸
芝秀
故道
流霞
祇懐
仙黒

春興

百丈
露十
路秋
文器
扶摇
我郷
来舟
吾舟
川涼
立原
雪里

雨簾　女　花暁
下世鳥山　如山
東子

保久仙

隅田の堤に
まてときおとなれと

堤見の遠くて来し鶯そ　　旋跡

松の暁てほと一二篇雲のむ　　春蛾

日入て吉く星の鶯の声　　瑞組

うらむけすや一本桜てあまり散　　月笳

うつれ給ふかくも飛びや杯の月　　文石

掃除に鶯見出しより来るる　　東羽

雪の中ともにくもさらつる菜　　麥畝

さしよせて春かあしやゆ字　　雅景

干て置く傘に春柳かな　　水江

場やや柳のまちの上　　谷原 敲石

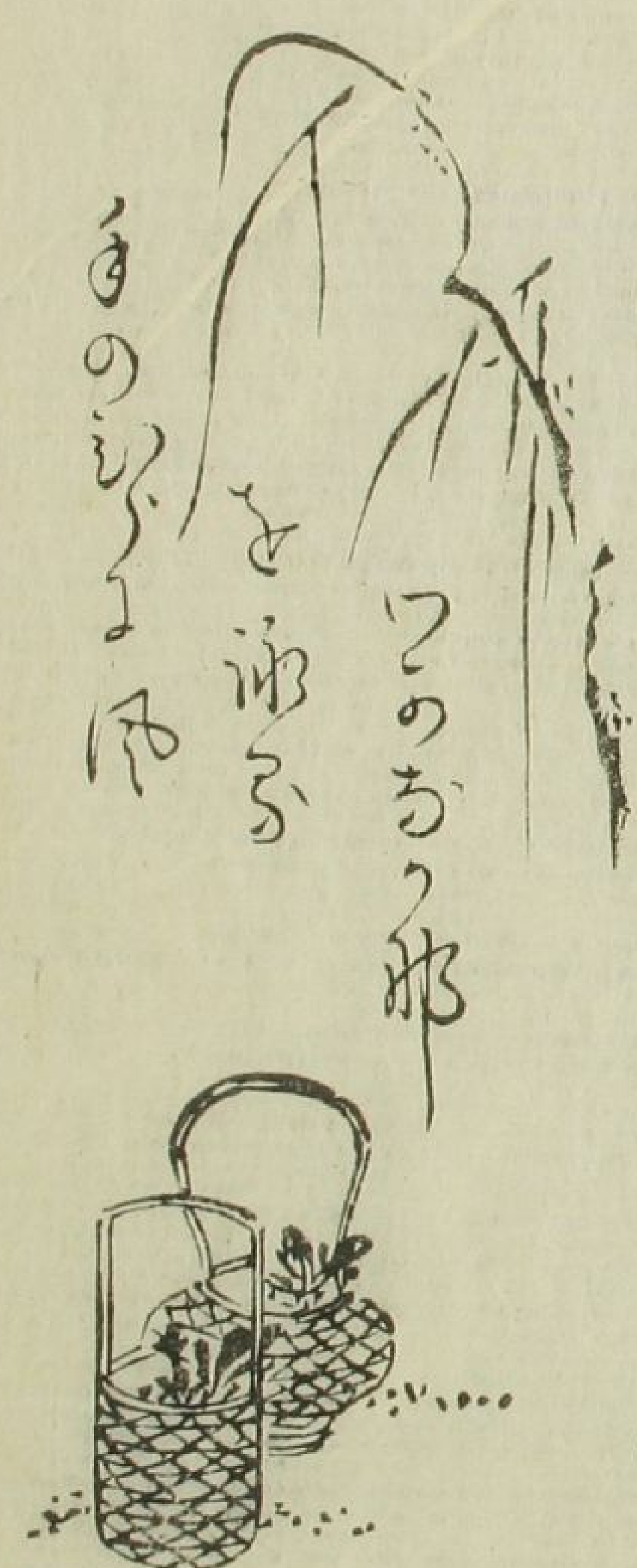
盛余信の笠ハ傘や鶯そ　　大沢 栄皐

生る宮し梅見の面子至臣蝶　　东武 如帆

字ぶひきや浅く日和よちより散　　千外

くらひ長給ふや和紙に鶯の声　　朱英

鶯やまたしたの句を定めよ　　素蓮



口のおつ郷
を詠ふ
手のひらよ風　　李郷

柳うゑや面白の蔀の動く時　百格
青柳や杖ゆ引動く庭おゆり　千弧

あさがほ柳
柳のやなぎ　緑よの夢　菊人

猫の恋はなくんをきてよ　京　文雖
巧ゝ為ぬ限とゝいなし　尾州　有伶
一面よりの戸もあるよ　千住　堅山
一ゆゝしくてふるゝ　春柳
一雨は　藤ゆ長ゆ

七種ゝ入交ゝ　敏州
花を出る物とハ　ちゝに松芽ゆ
柳ゝ多ゝ　ゆゝまて出ぬ　植ゆ
新しき郎や　二ゝの新ゆ
柳さくや出花の白戸明ゆ
若葉ゆ　ゆゝ
切れゆや　ゆゝ
うゝひゝ　ゆゝ
青柳や　賛ぬ

歳末

ゆもなゝみうゝ　ぬ十二月

九羽
宗陸
帆石
吾俊
義性
うゝ
よの
たゝ
佑象

成義

燥として望日塵の世をなりぬ　百菴

、あるほ師走終るふるとおか

冬子入の師走始や三ヶ下り　平砂

菜畑し隙の蜜の張ひぬ　収億

燥として面ておやの鏡の那　牛呑

　　羽貫

、飛ひとりの四極点なり市金ひ　夜庭

除さきに因をりあるのれ　百雨

、青柳の身にたるを川師走来　吳橋

すはらや柳の落よ源氏来　亀翠

ほとゝぎす曉 床しき拂ひ　自素

うのはに多なる芋や身の奥　郁吉

、

素蛇なる人のうなの陽 汚　不言

あるはなる鶯や遠儀の言 鶏子　鶯風

立るあや素なを張の鶏るを　連尺

、

尼川も沐のさるや茅花ひ　芳竹

、五子の社おて

多なる市田示はるる茅股茶屋

かはこの声はのあて理市屋　八十二翁　栁下

極男やとの市の人松上　麥畝

　　桂十

[illegible]と牛もを[illegible]の坂
[illegible]の尾もて[illegible]の女ゝ
牛[illegible]ゝ[illegible]ゝの[illegible]

如帆
九羽
荷亮

、
[illegible]と[illegible]を見きハ[illegible]賀
[illegible]川[illegible]の[illegible]の[illegible]

冬英
五淩

、
伊[illegible]に[illegible]と[illegible]の[illegible]の店
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

晋阿
義左

、
[illegible]なる[illegible]日ハ[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]一[illegible]川[illegible]

老鼠
湖十

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

秋色
憲稲
宝井
崔領
石鴉

、
指[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]を[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

箕山
止[illegible]
貫四
尺素

、
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

桃義

[illegible]

米叔

国香

陸山

百寿

[illegible]

佛外

篤之

一志

[illegible]

吾山

町田浪翁寿梓

追加

[illegible]

松波

[illegible]

兒十

[illegible]

其何

[illegible]

年尾

[illegible]

雨林

信夫立春を人わやしきにて
詠ぶ

かすみ立ちぬ春をしらせる人の言葉ぞ
ひとしきりうれしき梅ぞ花ぞ　立春

浦風や春のうらうらたちかくる
向けて晴れさあるもの家　青山

紙辻窓引
高師のいとをまとふ福引の
ひく家うちに祈みるうち　宝仙

不二はさて雪をとぢめ水うる
なてこの頃雪をとぢめ人を
すしさやはらぬの川よりの風
り物も無よ言きこりの外
タ入れ風も御や　言の葉
おうぐいの旅や　春宵
ちりの原や　桜の咲き鏡
はるを碎をさるを　春宵
はの為に中ゆる　梅の形

吾長
花色
春英
綾波
魚遊
為卿
鳥賊
十雨
文石

子の戸おそ宿るまくハ松風ハ
すさまじと寝覚の里さ
ものすごき月も隈なく松
ハ初もまつ口ずさの窓ハ
こゝ夢を迷ふ山ほとゝ
ぎすのおもてなれも名残
くれくと雲出て来る十数小
一声ハ西日の目ハほとゝ
ぎすひとり帰るなり
暁のこゝ一ハさくらの郭
人の声ゝ鶯の鶯

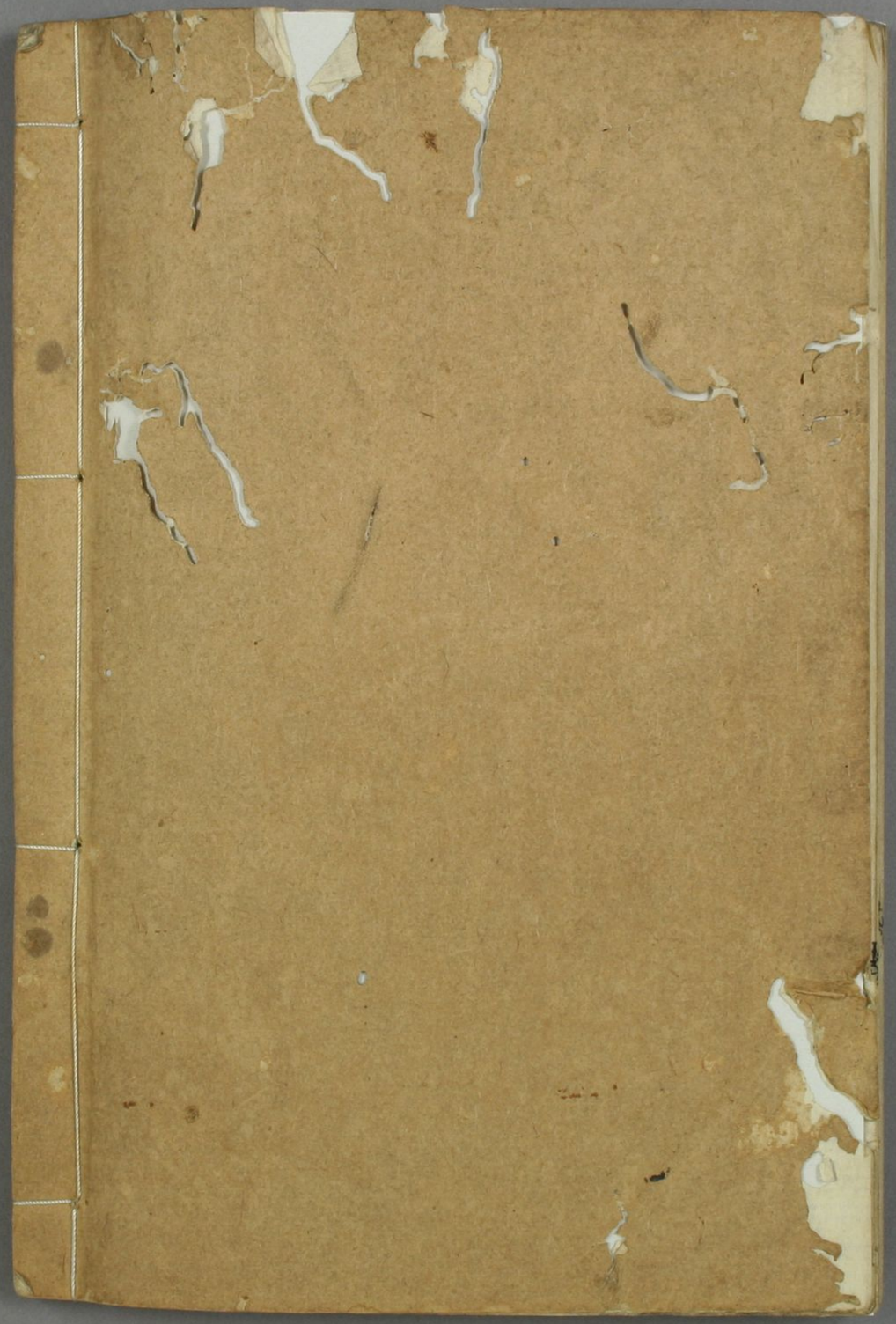
橋洲
圭督
吾扇
李塚
吾竹
友江
山朔
路也
文隆
湖翠
機賀

ぬるひとよ雪より引ふり風はゝ
ものの川岸もけやゝ音小
秋ふけやゝ雲の小宝ハ高
ふるゆゑ蛙のしゝ鳴て
ほとゝぎすかいつるハ鶴を引
渡るゝやゝ枕ハ
夏ふけやゝ雲門も鶯
ぬゝ蛙ハ目ハ宝ゝ
まゝ雲ハ雲ゝ
松ふけやゝ入ぬ
やゝ音ゝ草の小芥子の雲小

鶴山
文江
佳泉
文峰
仙里
無竹
千柳
湖市
五風
一山
一の舎

おもよりおもしろの衣の紅
枯枝に鳥のとまりけるさびし
さしも井の底に柔の紅のあり
梅の花の散りこぼれ寺
鶯の鳴く人のかき墨さうも
鶯の鳴くに華や更衣
みよしの山の桜ちるさ石竹菴
小仙や鶯てもものたとえう
芋ハ芋茎の鶯て夜の
君の恋おもしろ今宵佛

吾舟
双巴
久川
東羽
洛明
川原
席夏
栄督
口口
玄々
学谷

おかくの御所の月かな月

来儀